



校長講話 ～人権教育月間に寄せて～

今年度は10月25日～11月30日を入権教育強調月間と位置づけ、人権にかかわる学習を深めました。各学年の計画に沿って、部落差別をはじめとする様々な人権問題を学習するとともに、身近な課題について考えて、よりよく行動していこうという意欲を高めました。また、生徒会活動でも放送を通じた呼びかけや人権集会でグループ討議を企画するなど、全校で考え合う場面も工夫しました。自分らしく過ごしやすい学校や社会を目指していきたいですね。

さて、11月2日(火)の校長講話では、次のようなお話をいただきました。ご紹介します。

【校長講話概略】

こちらのグラフを見てください。

これは文部科学省が毎年、秋に発表する日本全国の学校で1年間にあった「いじめの件数」を表しています。

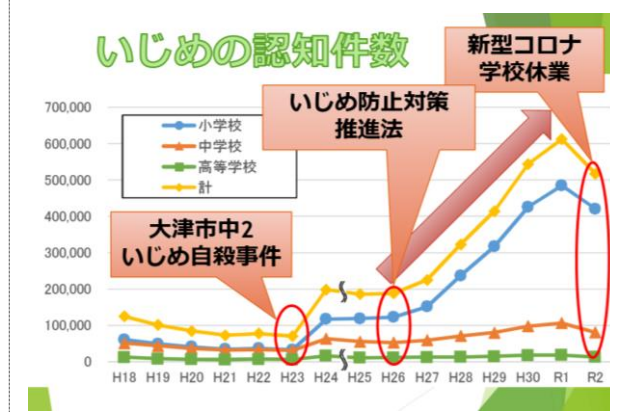
ここ数年いじめがグーッと増えてきていることがわかります。これはもしかして、平気で人をいじめる悪い子が、どんどん増えているということでしょうか？

そんなことはないですね。ではなんでこんなに増え続けてきたのか？それは・・・「いじめに対する捉え方がこの数年間で大きく変わった」ことが原因です。きっかけとなったのは、平成23年に大津市で起きた「いじめ自殺事件」です。この事件を受けて平成26年、いじめへの対応と防止について学校と行政がやるべきことを明確に定めた「いじめ防止対策推進法」が制定されます。

この「いじめ防止対策推進法」でいじめの定義が大きく変わります。この法律で「個人対個人であっても」「物理的な被害のない心の苦痛であっても」「ネット等の書き込みも含めて」いじめであるという定義が変わります。そして、命さえ奪いかねない重大ないじめは犯罪行為となることが明文化されます。つまり、今は「いじめはあって当たり前」で、問題を明らかにすることで、困っている人に寄り添い、みんなで解決することに重点が置かれるようになったのです。

そうなると当然、いじめの件数は増えていきます。件数が増えてきていることは決して良いことではありませんが、見方を変えて「嫌な思いをした時に、昔は黙って我慢してきたけど、今は『嫌だ』と声を上げられる世の中になってきている」と考えると、悪いことばかりではないと言えるのかもしれない。

文科省の調査では、いじめの内容を9つに分類していますが、その中で多かったのは①「冷やかす・からかい・悪口」で全体の半分以上の割合を占めています。②2番目は「たたく・ぶつかる・ける」体に対するいじめです。③3番目は「仲間はずれ・無視される」④4番目は「ネットやSNSを使った誹謗・中傷、悪口やうそ、いたざら等」です。特に高校生と中学生で増えている傾向が見えます。



最近ニュースで大きく取り上げられた「いじめ事件」を憶えていますか？東京都町田市で、小学6年の女の子が、いじめを受けたという遺書を残して自らの命を絶ってしまった事件です。自殺の2か月前には学校のアンケートで、いじめの兆候が見つかっていましたが、最悪の展開になることを防ぐことはできませんでした。彼女を追い詰めていったいじめの一つに、学校で配布されたタブレット端末があります。

クラスの誰もが見られるチャットを使って、彼女の悪口がやりとりされていたのです。他人のIDを使ったなりすまし行為で「うざい」「マジきもい」「死んでほしい」などと複数の同級生から書き込まれたことで、クラスのみんなから嫌われているかのような絶望感を感じてしまったのかもしれませんが。学習のために配られた便利な道具も、使い方を誤ると人を傷つける凶器となってしまうのです。

「軽い気持ちでやってしまった」「そんなに傷つけるつもりはなかった」といくら言い訳しても…彼女は戻りません。いじめは絶対に許されない犯罪行為なのです。

先日図書館で借りた絵本を読みたいと思います。

『わたしのせいじゃない』～責任について～

レイフ・クリスチャンソン(文) にもんじ まさあき(訳)

〈 内容 略 〉



(この本はスウェーデンで生まれました。日々の暮らしの中の ささやかな 小さな感動を見過ごすことなく伝えてくれるそんな本です。生きることが辛い時 そっと手に取ってください。愛と希望と勇気と夢があなたの中に膨らんでいきますように。 訳者)

今日はズーと重たい話ばかりですが、文科省のいじめ調査をちょっと違う角度から見てみましょう。グラフから見られる大きな傾向として「右肩下がり…年齢が上がる、成長するといじめは確実に減っていく」ということがわかります。つまり、いじめを減らすには、みんなが成長すればいいんです。でも、「ただ年をとればいい」ということではありません。よく学んで…よく遊んで…よく楽しんで…よく食べて…よく寝る…仲間と一緒にそんな充実した日々を積み重ねていくことが大切です。

いじめをなくすために大切なのは、心の成長です。周りの人に対して優しさと思いやりの気持ちをもって、正しい判断力を身につけることができれば、きっといじめはなくなっていきます。

いじめをなくすために…一つ…友だちを大切に作る、相手を思いやる気持ちをもちましょう！二つ…もしも自分がいじめを受けていると感じたら、勇気を出してSOSを発信してください。三つ…もしもいじめを見かけたら、自分にできることは何だろう？と考えて、何かアクションを起こしましょう。「やめようよ」と言えない時は匿名の投書でもかまいません。周りにいる大人に必ず伝えてください。お願いします。

今日はいじめについて考えました。みんなで健全な心を育て、誰もが気持ちよく生活できるそんな埴生中になることを願って講話を終わりたいと思います。最後までしっかり聴いてくれてありがとうございました。

11月12日PTA講演会では、親子で「スマホ・ケータイ安全教室」!

11月参観の折に開催されたPTA講演会は、保護者用(体育館)と生徒用(各教室)のそれぞれの内容で、SNSとの関わり方等についての動画を視聴しました。便利さや快適さの裏に危険性があったり、使い方によってはお互いの人権侵害になったりすることを確認しました。折に触れて、家庭で使い方について話し合うことも大切だと思います。

9月の初旬に予定されていた水泳の北信新人戦は、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが高く中止となりました。しかし、その後感染状況が落ち着いてレベルが下がったことで、運動部活動の新人戦を実施することができました。生徒たちは、大会に臨めたことを喜びつつ躍動してくれました。下に、それぞれの結果を報告いたします。きっと、来春の大会等に向けて大きな糧となってくれることと思います。また、ご家庭や地域の皆様からも励ましの言葉をいただくとありがたいと思います。

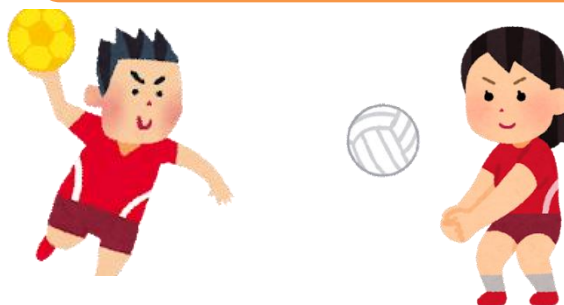
また、右側には表彰され賞状等をいただけたものについて、掲載させていただきます。

県・北信中学校新人体育大会

団体競技結果 及び
個人戦上位大会進出者のみ掲載

【女子 ハンド】 県 11/13・14 1位

埴生	対	屋代附属	40-25	○
埴生	対	更埴西中	40-22	○
埴生	対	戸上中	24-21	○



【男子 ハンド】 県 11/13・14 5位

埴生	対	戸上中	24-25	●
----	---	-----	-------	---

【女子バスケット】 北信 10/16

埴生	対	川中島中	12-81	●
埴生	対	小布施中	12-51	●



【男子バスケット】 北信 10/17・18

埴生	対	篠西中	45-47	●
埴生	対	屋代中	55-47	○
埴生	対	東部中	47-70	●
埴生	対	三陽中	47-71	●

【剣道女子団体予選リーグ】 北信 10/9

埴生	対	南宮中	0-5	●
埴生	対	篠西中	2-1	○
埴生	対	屋代中	0-2	●

【サッカー】 北信 10/9

埴生	対	三陽中	0-1	●
----	---	-----	-----	---

【剣道男子団体予選リーグ】 北信 10/9

埴生	対	松代中	0-5	●
埴生	対	広徳中	4-0	○
埴生	対	高社中	4-0	○
埴生	対	戸上中	0-3	●

【決勝トーナメント】 北信 10/16

埴生	対	東部中	0-5	●
----	---	-----	-----	---



【女子バレー】 北信 11/20

埴生	対	更北中	0-2	●
----	---	-----	-----	---

【野球】 北信 10/10・16 2回戦

埴生	対	中野平高社	15-2	○
埴生	対	屋代中	6-9	●

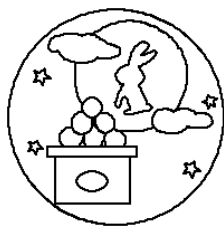
各種作品コンクール上位入賞者



◇第38回信州さらしな・おばすて観月祭全国俳句大会

<中学生の部>

〔入 選〕



- | | |
|--------------------|---------------|
| ○五線譜の 音符ならべば さくらんぼ | 北川紗衣さん (3の1) |
| ○夏近し 草木の色も 変わりけり | 津田彩優加さん (3の1) |
| ○窓の外 花火の色に 染まる空 | 内山伊織さん (3の2) |
| ○車窓から 一筋光る 流れ星 | 西澤来叶さん (3の2) |
| ○静かな夜 水面照らす 朧月 | 森 悠真さん (3の2) |
| ○山の上 月の都に うかぶ月 | 佐伯莉愛さん (3の3) |

◇第63回千曲市児童生徒作品展

<習字の部>

- 〔入 選〕北原萌菜さん (1の1)、朝倉みことさん (1の2)、糸内満里さん (1の3)
廉澤彩世さん (2の1)、向山 仁さん (2の2)、青山莉奈さん (2の3)
原山姫花さん (3の1)、近藤 愛さん (3の2)、小林杏香里さん (3の3)
中村美澄さん、池谷天使羽さん、高野大輝さん (5組)
糸内優里さん、高地伸希さん (5組)



<絵画の部>

- 〔入 選〕西澤来倅 (1の1)、西澤実咲 (1の2)、柳澤 葵 (1の3)
森川春紗 (2の1)、奥 紗綾 (2の2)、宮川香峯子 (2の3)

<立体作品の部>

- 〔入 選〕荒木田高子 (3の1)、竹原玖音 (3の2)、相原 光 (3の3)

◇第35回今を生きる子どもの絵展

- 〔地方入選〕林 文香さん (3の1)「マーブルな世界」
〔 〃 〃 〕森川春紗さん (2の1)「自画像」

◇第72回長野県児童生徒美術展

<美術の部>

- 〔地区入選〕荒井梨夢さん (2の3)「自画像」



◇税についての作文

- 〔上田地区納税貯蓄組合連合会長賞〕 中島 葵衣 さん (3の3)

◇第44回長野県読書感想文コンクール

- 〔2類 銅賞〕正木 堇 (3の1)

「with you」

- 〔3類 入選〕宮坂柚希 (3の1)

「ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー」を読んで

読書感想文コンクールについては、賞状がまだ届いていないので年明けの表彰となります。また、例年今頃には分かる「更埴地区短詩型文学祭」や「川柳コンクール」の受賞者についてもまだ連絡が届いておりません。今後の表彰者については、改めてお知らせしたいと思います。

【担当】教頭：中山 和己 [住所] 千曲市桜堂 100 [TEL] 026-272-0015